

# 平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	社のアトリエ黎明維持管理事業			会計	款	項	目	大事	小事
				01	10	05	08	01	09
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	図書・博物館				
施策	3-4	ながれやま市民文化の継承と醸成		主管課長	小栗 信一郎				

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	社のアトリエ黎明	意図	社会教育ギャラリーとして良好に管理し、公開施設として来館者に快適に利用してもらえるようにする。
事業内容	社のアトリエ黎明の建物・庭園のメンテナンスや警備・管理委託を実施する。施設使用許可を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	洋画家の利用していたアトリエの寄贈を受け、多目的な生涯学習施設として整備した。主な使用用途は小ギャラリーとして使用。施設的美観・安全・利便・快適性を確保するため必要最小限の維持管理を実施。平成13年10月開館。アトリエ39㎡を市民に利用していただいております。平成18年度から指定管理者制度を導入、平成23年度と平成28年度に5年間の更新をした。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		①	修繕件数	0	2	0	
②	アトリエ利用件数	72	84	80	件	→→	
③	利用者数	603	704	607	人	→→	
④							
指標で表すことができない定性的な成果	入館者数は前年に比べ増加した。						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト	平成25年度	平成26年度	平成27年度	当該事業費は、市民の財産である社のアトリエ黎明に係る施設保険料及び施設の樹木剪定業務が主なものであり、財産価値保全のために必要不可欠なものである。			
事務事業の総コスト(a=b+c)	149,788	153,729	154,013				
事業費(b)(円)	149,788	153,729	154,013				
うち一般財源	149,788	153,729	154,013				
職員給与費(c)(円)							
人役・職員(人)							
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

### (2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	市と指定管理者との連携をとり、施設の修繕等を行う。	③取組の課題	当該施設は建物全般において経年劣化が見られるため、今後も指定管理者と連携をとり、引き続き定期的な点検実施による整備計画を立てる必要がある。
②今年度(H27)に実施した取組	市と指定管理者との連携をとり早期に雨戸修繕を行うとともに、定期的な点検に努めた。	④今後の改善計画	施設の小破修繕・庭園管理等は、文化財としての価値を維持し必要最低限の措置であることから、今後とも引き続き指定管理者と連携をとり、来館者増加のために施設整備を図る。